

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	1 広報・啓発の推進
施策の方向	1. 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実
具体的施策	[1] 男女共同参画セミナーの開催

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)					
男女共同参画啓発および人材育成セミナー	企画情報課 [総務]	-	3講座／年	①充実		②継続		③新規 ●
事業の概要								
「男女共同参画社会」について理解を深めることができるよう、様々な角度から「男女共同参画」を学ぶことを目的に開催するものであり、1講座を3人程度の講師によって構成するセミナーを毎年3回程度開催しようとするものである。								
平成20年度実績								
テーマ 「男女(ひとりひとり)が自分らしく輝くまちをめざして」 会 場 津島やすらぎの里 平成20年10月25日(土) 参加者:22名 「男女(ひとりひとり)が輝く男女共同参画社会とは」 講師 愛媛県女性総合センター 館長 亀岡 マリ子 氏 平成20年11月2日(日) 参加者:32名 「女性が輝くとき まちが輝く」 講師 人間牧場主(元双海町教育長) 若松 進一 氏 平成20年11月8日(土) 参加者:20名 「ANAにおけるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み」 — 挑戦する人財の創造 — 講師 全日本空輸株式会社(ANA)人事部いきいき推進室長 宮坂 純子 氏								決算額
								149千円
								実績値
								1講座
								進捗状況
								2
事業に対する評価・課題等								
参加者が少なかった事が残念であった。これは、3週連続で開催したことが大きな負担となってしまったことと、市内各地で開催された各種行事と重複してしまったことが、大きな要因であった。「行きたかったのだが」、「話を聞きたかったのだが」という人々も多く、内容については良かったのではないと思われる。 やはり3週連続となるような手法や開催時期については反省し、来年度以降の開催方法を十分に検討しなければならない。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成21年度予定								
今年度の反省を踏まえて、1講座を複数回で構成する手法を見直し、1つ1つが独立した形での講座を2回程度開催する。 なお、講師については、県内外から招聘することを検討し、様々な角度から「男女共同参画」を解くことを目指していきたい。								予算額
								601千円
								目標値
								2回

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	1 広報・啓発の推進
施策の方向	1. 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実
具体的施策	[1] 男女共同参画セミナーの開催

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)					
生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー	生涯学習課	-	1講座／年	①充実		②継続		③新規 ●
事業の概要								
講演会や研修会等あらゆる機会を通じて男女共同参画の理念や内容についての啓発を行うために、第16回生涯学習うわじまフェスティバルの一環として、キャリア教育研修会を開催するもの。								
平成20年度実績								
第16回生涯学習うわじまフェスティバル キャリア教育研修会 演題：知りたいを形にする「中学生・高校生の視点から企画・取材・編集する職業ガイドブックづくり事業」 講師：濱 砂 圭 子 氏 福岡県男女共同参画審議会会長・株式会社フラウ代表取締役社長 NPO法人男女子育て環境改善研究所理事長・NPO法人NPOふくおか理事長 日時：平成21年3月23日(月) 16:00～18:00 会場：宇和島市生涯学習センター 大ホール 参加者：50名								決算額
								100千円
								実績値
								1講座
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
生涯学習また教育現場の中で、「キャリア教育」への関心の高まりと、多様化する就職事情や進路選択をめぐる環境に、若年層が主体的に取り組めるようになる施策の研修が目的であった。講師の女性として、母親としての立場からの社会参画について、青少年に対し指導的な参加者に、新たな展開をしている事例報告を行った。参加者から、「実際に教育現場でも、生かしてみたい。」、「悩みが開放され、視野が広がった。」「女性の能力の再生産が大切に思った。」等のアンケート結果が出て、大変有意義な研修であった。また、今後は、それらを踏まえて、いかに青少年が社会に参画すべきかの施策について、地域社会が一体となって取り組む必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成21年度予定								
生涯学習の視点から、青少年人材育成といった「キャリア教育」に関して、若年層の「働くこと」「職業の意義を把握できること」「自身の将来を設計すること」等を意識付けることを目的に、市内高校生を対象に実施する事業の報告会の中で、生徒・教諭・社会人を参集しての「男女共同参画社会」についての研修会を実施したい。								予算額
								100千円
								目標値
								4

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	1 広報・啓発の推進
施策の方向	1. 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実
具体的施策	[2] あらゆる機会における広報・啓発活動の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●	
男女共同参画に関する広報事業	企画情報課 [総務]							
事業の概要								
男女共同参画に関する理解を広めるため、国の取組みや宇和島市で策定した「男女共同参画基本計画」に基づく施策などを広報紙により周知するほか、市民を対象とした講演会やイベントを開催して意識啓発を図ろうとするものである。平成20年度からは、市及び教育委員会主催、PTA連合会・女性団体連絡協議会等団体との共催により、国の男女共同参画推進本部が実施する「男女共同参画週間」に合わせて、「男女共同参画推進大会」を開催している。								
平成20年度実績								
【男女共同参画推進大会】 日時：平成20年7月6日(日) 10:00～15:00 場所：南予文化会館 内容：映画(DVD)上映(タイトル:「幸せのレシピ」)、基調講演(講師：フジテレビアナウンサー 笠井信輔氏、演題:「息子3人 アナウンサー・記者夫婦奮闘物語」)、男女共同参画社会作品コンクール表彰式、各種相談(育児・高齢者・健康相談)、加工品等即売会(生活研究協議会、企業組合あこやひめ) 来場者：約600人 【男女共同参画講演会】 ※職員研修を兼ねる 日時：平成21年3月13日(金) 14:30～16:30 会場：宇和島市総合福祉センター 講師：橋木 俊詔 氏 (同志社大学経済学部教授・元日本経済学会会長) 演題：これからの労働・結婚・子育て ～経済学から解く男女共同参画社会～ 来場者：約100人						決算額		
						1,063千円		
						実績値		
						—		
						進捗状況		
						4		
事業に対する評価・課題等								
○「男女共同参画推進大会」においては、身近なテーマに視点を置いた講演や映画上映などを行うことにより、実生活と男女共同参画との関わりについて意識が深められたと思われる。また、家族や地域の人たち に対する感謝の気持ちを込めた手紙等の作品コンクールを大会に先立って実施し、当日優秀作について表彰・紹介を行った。後日広報にも掲載し、男女が協力して家庭や地域と関わることの大切さを、多くの人が再認識できたのではないかと考える。								
○「男女共同参画」について更に広く、深く理解を得られるよう、実生活に根差した様々なテーマを取り上げ、講演会等を実施するほか啓発を図っていきたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5		
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5		
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4		
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4		
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5		
平成21年度予定								
前年度同様、男女共同参画週間の期間中に大規模な大会「男女共同参画フェスティバル」を実施するほか、12月以降に講演会を数回開催する予定としている。 【男女共同参画フェスティバル】 日時：平成21年6月28日(日) 9:00～16:30 場所：南予文化会館 内容：映画(DVD)上映(タイトル:「Mayuーココロの星ー」)、トークショー(アニマル浜口氏、らくさぶろう氏)、トーク&コンサート(う〜み氏)、男女共同参画社会作品コンクール表彰式、マンモグラフィー検診、各種相談、加工品等即売会(生活研究協議会、企業組合あこやひめ)						予算額		
						2,275千円		
						目標値		
						—		

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	1 広報・啓発の推進
施策の方向	2. 男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進
具体的施策	[1] 情報の収集・発信の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
農山漁村におけるパートナーシップに関する指標調査	農林課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
男女共同参画を推進する中で、農山漁村の分野で経営参画、社会参画に関する目標を設定して参画促進に向けて取り組んでいく。								
平成20年度実績								
女性の経営参画 1. 認定農業者数 491人 内女性 15人 2. 農業者年金加入者数 77人 内女性 1人 3. 女性の企業活動 7人 女性の社会参画 1. 農業委員会への登用 47人 内女性 2人 2. 女性リーダー等の育成 4人 内女性1人								決算額
								—
								実績値
								左記参照
								進捗状況
								1
事業に対する評価・課題等								
最終目標の数値にほぼ達成しているものについては、更なる参画が図られるように、また目標に達成していないものについては、達成するように取り組んでいくよう、関係機関と連携して取り組んでいきたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成21年度予定								
最終目標の数値に達成していないものを重点的に関係機関と連携して取り組んでいきたい。								予算額
								—
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	1 広報・啓発の推進
施策の方向	2. 男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進
具体的施策	[1] 情報の収集・発信の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
農山漁村におけるパートナーシップに関する指標調査	水産課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
男女共同参画に関する各種情報の収集・提供、定期的な調査実施による市民意識の把握をしようとするもの。								
平成20年度実績								
実績なし								決算額
								—
								実績値
								—
								進捗状況
								1
事業に対する評価・課題等								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
男女共同参画に関する各種情報の収集・提供、定期的な調査実施による市民意識の把握・施策推進に努めたい。								予算額
								—
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	1 広報・啓発の推進
施策の方向	2. 男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進
具体的施策	[2] メディアにおける男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)					
広報事業への女性参画(広報うわじま・HP作成等)	総務課 [企画調整]	0人／4人	1人／4人	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
市の広報紙、ホームページ等について、男女双方から見ても違和感、疎外感のない表現となるよう点検し、必要に応じて見直しを行う。また、刊行物等に関する表現についてガイドラインの作成を検討する。								
平成20年度実績								
市の広報紙、ホームページ等について、男女双方から見ても違和感、疎外感のない表現となるよう点検した。							決算額	
							—	
							実績値	
							0人／3人	
							進捗状況	
4								
事業に対する評価・課題等								
○男女双方から見ても違和感、疎外感のない表現を実現できた。 ○数値目標については、達成できなかった。 ○刊行物等に関する表現については、簡単な取り決めはあるが、ガイドラインの作成には至っていない。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成21年度予定								
市の広報紙、ホームページ等について、男女双方から見ても違和感、疎外感のない表現となるよう点検し、必要に応じて見直しを行う。また、刊行物等に関する表現についてガイドラインの作成を検討する。							予算額	
							—	
							目標値	
							0人／3人	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—